

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年11月6日
【四半期会計期間】	第99期第2四半期（自 2020年6月26日 至 2020年9月25日）
【会社名】	新内外綿株式会社
【英訳名】	SHINNAIGAI TEXTILE LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 長門 秀高
【本店の所在の場所】	大阪市中央区備後町三丁目2番6号
【電話番号】	06（4705）3781（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務部長 石田 仁紀
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区備後町三丁目2番6号
【電話番号】	06（4705）3781（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務部長 石田 仁紀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第2四半期 連結累計期間	第99期 第2四半期 連結累計期間	第98期
会計期間	自2019年3月26日 至2019年9月25日	自2020年3月26日 至2020年9月25日	自2019年3月26日 至2020年3月25日
売上高 (千円)	2,262,881	1,449,246	4,077,286
経常損失 ( ) (千円)	18,915	143,445	78,526
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	16,957	142,808	213,786
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	9,530	151,697	198,316
純資産額 (千円)	2,729,251	2,359,398	2,540,428
総資産額 (千円)	4,344,756	3,843,737	4,157,986
1株当たり四半期(当期)純損失 ( ) (円)	8.67	73.03	109.32
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.7	61.2	60.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,515	2,006	7,073
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	95,936	13,779	141,141
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,064	15,653	3,492
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	215,844	175,900	173,675

回次	第98期 第2四半期 連結会計期間	第99期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月26日 至2019年9月25日	自2020年6月26日 至2020年9月25日
1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	0.50	44.26

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続き、経済活動が制限された4～6月期においては大きな落ち込みとなりました。

また、7月以降は経済活動の再開など内需主導での経済回復が期待されましたが、夏場の感染再拡大の影響で個人・企業の心理が悪化し、内需が伸び悩んでいます。

今後は、新型コロナウイルス感染症に加え、季節性インフルエンザなどの感染の状況によっては、消費マインドの後退や政府による活動自粛の再要請などが懸念されるため、経済活動の再停滞が最大のリスク要因となり、低水準での推移が続くとみられます。

このような状況の中、当社グループ紡績部門におきましては、主力商材である空糸の販売が回復せず、新型コロナウイルス感染症の影響により各産地からのオーダーが激減し、売上の回復が未だに見込めない状況が続いています。タイ販売子会社においてもタイ国内販売、海外輸出販売が減少し苦戦を強いられています。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、同部門の売上高は8億98百万円となり、前年同期比5億51百万円(38.0%)の減収となりました。

テキスタイル・製品部門におきましては、紡績部門と同様、新型コロナウイルス感染症による百貨店やアパレルSPA顧客の在庫消化の遅れから新規企画に繋がらない状況で、同部門の売上高は5億50百万円となり、前年同期比2億61百万円(32.3%)の減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億49百万円(前年同期比8億13百万円の減少)となりました。利益面におきましては、紡績部門およびテキスタイル・製品部門における売上高の低迷が影響し、営業損失は1億27百万円(前年同期は営業損失20百万円)、また、営業外収益に国内子会社の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う助成金収入として雇用調整助成金14百万円等、営業外費用にその人件費部分として雇用調整に係る労務費26百万円等の計上により、経常損失は1億43百万円(前年同期は経常損失18百万円)となりました。法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額等計0百万円を計上しました結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億42百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円)となりました。

また、財務面におきましては、一部資金需要の集中もあり、有利子負債は2億30百万円となり、前連結会計年度末比で39百万円の増加となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比3億14百万円減の38億43百万円となりました。これは主として売上債権の減少等によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比1億33百万円減の14億84百万円となりました。これは主として仕入債務の減少等によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比1億81百万円減の23億59百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少等によるものです。この結果、自己資本比率は61.2%となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1億75百万円となり、前連結会計年度末比2百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2百万円(前年同期は4百万円の使用)となりました。

これは主として、減価償却費(29百万円)、売上債権の減少額(2億9百万円)、たな卸資産の減少額(82百万円)等による増加と、税金等調整前四半期純損失(1億43百万円)、仕入債務の減少額(1億59百万円)等による減少によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13百万円(前年同期は95百万円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出(9百万円)、無形固定資産の取得による支出(2百万円)等による減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、15百万円(前年同期は1百万円の使用)となりました。

これは、短期借入金の純増額(44百万円)による増加と、配当金の支払額(29百万円)による減少によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は13百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,900,000
計	3,900,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年9月25日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月6日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,959,800	1,959,800	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	1,959,800	1,959,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年6月26日～ 2020年9月25日	-	1,959,800	-	731,404	-	-

( 5 ) 【大株主の状況】

2020年9月25日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
シキボウ(株)	大阪市中央区備後町三丁目2番6号	1,020	52.1
中山 啓二	東京都世田谷区	119	6.1
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券(株))	25 CABOT SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 4QA, U.K. (東京都千代田区大手町一丁目9番7号)	29	1.4
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	東京都中央区晴海一丁目8-12	25	1.3
宝天大同	兵庫県神戸市北区山田町下谷上字箕谷3-1	24	1.2
福井 眞吾	大阪市城東区	16	0.8
田中 義信	徳島県名西郡石井町	15	0.8
新内外綿従業員持株会	大阪市中央区備後町三丁目2番6号	13	0.6
(株)SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	13	0.6
損害保険ジャパン(株)	東京都新宿区西新宿一丁目26-1	10	0.5
計	-	1,287	65.8

( 6 ) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2020年9月25日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,949,100	19,491	-
単元未満株式	普通株式 6,500	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	1,959,800	-	-
総株主の議決権	-	19,491	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2百株(議決権2個)含まれておりません。

【自己株式等】

2020年9月25日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
新内外綿(株)	大阪市中央区備後町三丁目2番6号	4,200	-	4,200	0.21
計	-	4,200	-	4,200	0.21

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月26日から2020年9月25日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月26日から2020年9月25日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PWCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月25日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月25日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	173,675	175,900
受取手形及び売掛金	701,006	507,603
電子記録債権	30,385	11,807
商品及び製品	631,183	534,140
仕掛品	93,502	53,524
原材料及び貯蔵品	256,884	302,483
その他	25,254	30,191
貸倒引当金	268	193
<b>流動資産合計</b>	<b>1,911,623</b>	<b>1,615,457</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,930,231	1,930,231
減価償却累計額	1,694,507	1,706,012
建物及び構築物(純額)	235,724	224,218
機械装置及び運搬具	1,688,602	1,689,644
減価償却累計額	1,613,795	1,624,985
機械装置及び運搬具(純額)	74,806	64,659
土地	1,702,657	1,702,657
建設仮勘定	200	542
その他	183,735	186,458
減価償却累計額	170,061	172,285
その他(純額)	13,674	14,172
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,027,062</b>	<b>2,006,251</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	29,282	25,717
ソフトウェア仮勘定	-	2,800
その他	0	0
<b>無形固定資産合計</b>	<b>29,282</b>	<b>28,517</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,543	21,397
繰延税金資産	5,655	5,760
その他	169,018	169,554
貸倒引当金	3,200	3,200
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>190,017</b>	<b>193,511</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,246,362</b>	<b>2,228,280</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,157,986</b>	<b>3,843,737</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月25日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月25日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,243	289,365
短期借入金	190,807	230,363
未払法人税等	3,501	2,507
賞与引当金	39,252	32,862
設備関係支払手形	3,323	-
その他	75,822	70,429
流動負債合計	763,950	625,527
固定負債		
退職給付に係る負債	312,264	319,523
繰延税金負債	3,139	3,085
再評価に係る繰延税金負債	520,502	520,502
その他	17,700	15,700
固定負債合計	853,606	858,811
負債合計	1,617,557	1,484,339
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	594,644	422,503
自己株式	4,171	4,171
株主資本合計	1,321,876	1,149,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,923	5,403
繰延ヘッジ損益	39	12
土地再評価差額金	1,181,598	1,181,598
為替換算調整勘定	25,738	15,818
その他の包括利益累計額合計	1,211,300	1,202,832
非支配株主持分	7,252	6,830
純資産合計	2,540,428	2,359,398
負債純資産合計	4,157,986	3,843,737

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
売上高	2,262,881	1,449,246
売上原価	1,883,701	1,245,931
売上総利益	379,179	203,314
販売費及び一般管理費	400,010	330,701
営業損失( )	20,830	127,386
営業外収益		
受取利息	459	251
受取配当金	572	501
受取手数料	4,703	1,667
雇用調整助成金	-	14,384
その他	1,433	3,734
営業外収益合計	7,169	20,538
営業外費用		
支払利息	1,362	2,161
手形売却損	929	1,093
為替差損	2,912	5,786
貸倒損失	-	682
雇用調整に係る労務費	-	26,284
その他	48	589
営業外費用合計	5,253	36,597
経常損失( )	18,915	143,445
特別利益		
固定資産売却益	907	-
特別利益合計	907	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,392	13
特別損失合計	1,392	13
税金等調整前四半期純損失( )	19,400	143,459
法人税、住民税及び事業税	3,480	481
法人税等調整額	5,877	965
法人税等合計	2,396	483
四半期純損失( )	17,003	142,975
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	46	167
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	16,957	142,808

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
四半期純損失( )	17,003	142,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	995	1,479
繰延ヘッジ損益	43	27
為替換算調整勘定	6,520	10,174
その他の包括利益合計	7,472	8,722
四半期包括利益	9,530	151,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,647	151,276
非支配株主に係る四半期包括利益	116	421

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	19,400	143,459
減価償却費	26,435	29,992
貸倒引当金の増減額( は減少)	115	74
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	38,846	7,790
賞与引当金の増減額( は減少)	9,177	6,074
受取利息及び受取配当金	1,032	752
支払利息	1,362	2,161
固定資産除売却損益( は益)	484	13
為替差損益( は益)	2,812	120
売上債権の増減額( は増加)	284,688	209,170
たな卸資産の増減額( は増加)	41,165	82,703
前払費用の増減額( は増加)	14	4,927
未収入金の増減額( は増加)	7,670	2,542
長期前払費用の増減額( は増加)	170	5,757
仕入債務の増減額( は減少)	201,883	159,713
未払金の増減額( は減少)	1,772	5,649
未払費用の増減額( は減少)	11,143	7,537
その他	8,959	7,060
小計	3,669	4,546
利息及び配当金の受取額	1,072	917
利息の支払額	1,326	2,278
法人税等の支払額	788	1,179
法人税等の還付額	196	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,515	2,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	84,879	9,940
有形固定資産の売却による収入	707	-
無形固定資産の取得による支出	10,552	2,800
投資有価証券の取得による支出	871	721
その他	340	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	95,936	13,779
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	38,054	44,986
自己株式の取得による支出	8	-
配当金の支払額	39,111	29,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,064	15,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	723	1,655
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	100,792	2,225
現金及び現金同等物の期首残高	316,636	173,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	215,844	175,900

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
給料及び賞与	143,567千円	128,815千円
支払運賃	33,619	24,256
賞与引当金繰入額	28,096	21,533
福利費及び厚生費	24,437	22,063
退職給付費用	8,054	13,232

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
現金及び預金勘定	215,844千円	175,900千円
現金及び現金同等物	215,844	175,900

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	39,111	20	2019年3月25日	2019年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月19日 定時株主総会	普通株式	29,332	15	2020年3月25日	2020年6月22日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、繊維事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月26日 至 2019年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月26日 至 2020年9月25日)
1株当たり四半期純損失( )	8円67銭	73円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	16,957	142,808
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	16,957	142,808
普通株式の期中平均株式数(株)	1,955,564	1,955,511

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月6日

新内外綿株式会社

取締役会 御中

### P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山上 真人 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 北野 和行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新内外綿株式会社の2020年3月26日から2021年3月25日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月26日から2020年9月25日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月26日から2020年9月25日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新内外綿株式会社及び連結子会社の2020年9月25日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。